

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成25年2月21日 (2013.2.21)

【公表番号】特表2012-514455(P2012-514455A)

【公表日】平成24年6月28日 (2012.6.28)

【年通号数】公開・登録公報2012-025

【出願番号】特願2011-544412(P2011-544412)

【国際特許分類】

A 2 3 K 1/00 (2006.01)

A 2 3 L 1/31 (2006.01)

A 2 3 K 1/18 (2006.01)

A 2 3 K 1/14 (2006.01)

A 2 3 K 1/10 (2006.01)

A 2 3 K 1/16 (2006.01)

G 0 9 F 19/00 (2006.01)

G 0 9 F 3/00 (2006.01)

【 F I 】

A 2 3 K 1/00 Z

A 2 3 L 1/31 Z

A 2 3 K 1/18 A

A 2 3 K 1/14

A 2 3 K 1/10

A 2 3 K 1/16 3 0 4 B

A 2 3 K 1/16 3 0 3 D

G 0 9 F 19/00 Z

G 0 9 F 3/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月4日 (2013.1.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

機能性タンパク質を約 40%～約 90%、少なくとも 1 種の架橋剤を約 0.05%～約 2% 及び肉スラリーを約 60%～約 10% 含む、

前記肉スラリーが、肉及び少なくとも 1 種の湿潤可塑剤を約 20:80～約 80:20 の肉:湿潤可塑剤の比で含む、
食品組成物。

【請求項 2】

前記機能性タンパク質が、豆科タンパク質、穀物タンパク質又はそれらの組合せである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記機能性タンパク質が、(1) 約 20%～約 80% の豆科タンパク質、穀物タンパク質又はそれらの組合せと、(2) 約 80%～約 20% の少なくとも 1 種の他のタンパク質と、の混合物であり、

任意選択で、前記他のタンパク質が、植物性タンパク質、肉タンパク質ミール又はそれ

らの組合せであり、

(i) 任意選択で、前記植物性タンパク質が、大豆ミール、コーングルテン、ライスグルテン又はそれらの組合せであるか、又は (i i) 任意選択で、前記肉タンパク質ミールが、牛肉ミール、鶏肉ミール、七面鳥肉ミール、魚肉ミール又はそれらの組合せである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記架橋剤が、元素硫黄、メタ重亜硫酸ナトリウム、システイン又はそれらの組合せである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記湿潤可塑剤がポリオールであり、

(i) 任意選択で、前記ポリオールが、グリセロール (グリセリン)、ソルビトール、プロピレングリコール、ブチレングリコール、ポリデキストロース又はそれらの組合せからなる群から選択されるものであるか、又は (i i) 任意選択で、前記ポリオールがグリセリンである、

請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

湿潤可塑剤を約 5 % ~ 約 25 % 含む、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

A_w が約 0.4 ~ 約 0.7 である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 8】

水分含量が約 4 % ~ 約 14 % である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

動物に完全でバランスの取れた栄養を与えるように配合された、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

(1) 機能性タンパク質を約 40 % ~ 約 90 %、少なくとも 1 種の架橋剤を約 0.05 % ~ 約 2 % 及び肉スラリーを約 60 % ~ 約 100 % 含む、前記肉スラリーが、肉及び少なくとも 1 種の湿潤可塑剤を約 20 : 80 ~ 約 80 : 20 の肉 : 湿潤可塑剤の比で含む、約 5 % ~ 約 99 % の食品組成物と、

(2) 動物による消費に適した少なくとも 1 種の可食成分又は組成物と、を含むブレンド食品組成物。

【請求項 11】

前記可食成分又は組成物が少なくとも 1 種のキブルである、請求項 10 に記載のブレンド食品組成物。

【請求項 12】

前記可食成分又は組成物が、約 12 % 以下の水分含量及び約 0.65 以下の A_w を有する、請求項 10 に記載のブレンド食品組成物。

【請求項 13】

前記可食成分又は組成物が、押出キブル、バークキブル、押出トリート及びベークトリートからなる群から選択される、請求項 10 に記載のブレンド食品組成物。

【請求項 14】

前記可食成分又は組成物及び前記食品組成物が、約 12 % 未満の水分含量及び約 0.65 未満の A_w を有する、請求項 10 に記載のブレンド食品組成物。

【請求項 15】

(1) 少なくとも 1 種の機能性タンパク質と少なくとも 1 種の架橋剤とを混合して、ベース混合物を得るステップと、

(2) 少なくとも 1 種の湿潤可塑剤と少なくとも 1 種の肉とを混合して、肉スラリーを形成するステップと、

(3) 前記肉スラリーと前記ベース混合物とを混合して、前処理混合物を形成するステップと、

- (4) 前記前処理混合物を圧力下で加熱するステップと、
- (5) 前記加熱した組成物を膨張させて、食品組成物を形成するステップと、
を含む、食品組成物の製造方法。